

男女共同参画ふくしまプラン

平成29年度事業実施報告・平成30年度事業実施計画について【概要】

1 男女共同参画福島プランの趣旨及び位置づけ

- (1)「福島市男女共同参画推進条例」の基本理念に基づき、本市における男女共同参画社会形成のための基本計画として位置づけ、福島市総合計画と整合性を図り策定。
- (2)平成13年3月に第1次計画、平成23年3月に第2次計画を策定し、男女共同参画社会の形成に向けて、さまざまな施策を総合的かつ計画的に推進。
- (3)平成23年3月に策定した第2次計画を、策定後の社会情勢等の変化や、東日本大震災の経験から得た教訓、平成26年に実施した「男女共同参画に関する意識調査」をもとに男女共同参画に関する施策及び事業等の見直しを行い、第2次計画の中間年である平成28年度にプランの改定を実施。
- (4)この計画の一部を、本市での女性の職業生活における活躍を推進するため、平成27年8月に成立した「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の「市町村推進計画」と位置づける。

2 計画期間

平成28年度～平成32年度(5年間)

3 平成29年度事業実施報告

(1)実施事業数及び部局内評価

①実施事業数

基本目標	平成29年度	平成28年度
I 男女共同参画の意識づくり	45	45
II 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり	67	68
III 男女の人権を尊重する社会づくり	26	26
計	138	139

②部局内評価

基本目標	年度	A		B		C		D		評価なし		計
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
I 男女共同参画の意識づくり	H29	24	53.3%	21	46.7%	0	0%	0	0%	0	0%	45
	H28	25	55.6%	19	42.2%	0	0%	0	0%	1	2.2%	45
II 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり	H29	22	32.8%	42	62.7%	3	4.5%	0	0%	0	0%	67
	H28	22	32.3%	42	61.8%	4	5.9%	0	0%	0	0%	68
III 男女の人権を尊重する社会づくり	H29	10	38.5%	16	61.5%	0	0%	0	0%	0	0%	26
	H28	10	38.5%	16	61.5%	0	0%	0	0%	0	0%	26
計	H29	56	40.6%	79	57.2%	3	2.2%	0	0%	0	0%	138
	H28	57	41%	77	55.4%	4	2.9%	0	0%	1	0.7%	139

4 平成30年度事業実施計画

(1)事業数

基本目標	平成30年度	平成29年度
I 男女共同参画の意識づくり	45	45
II 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり	67	67
III 男女の人権を尊重する社会づくり	26	26
計	138	138

5 基本目標ごとの評価と課題、本年度の取組

(1)基本目標Ⅰ 男女共同参画の意識づくり(45事業)

男女共同参画意識の醸成と男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進を図るため、平成29年度は45事業を実施し、すべてにおいてB評価以上とすることができたが、A評価率は平成28年度の55.6%から2.3ポイント下がり53.3%であった。

男女共同参画意識の醸成は、全ての基本目標の達成・実現に向けた基礎となることから、男女平等と人権尊重の視点に立った一層の広報・啓発に努め、更なる意識の醸成を図る。

(2)基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり(67事業)

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進、政策・方針決定過程における女性の参画、復興・防災における男女共同参画の促進を図るため、平成29年度は67事業を実施し、A評価率は平成28年度の32.3%から0.5ポイント上がり32.8%であった。

基本目標の実現に向けては、多様な考えや意見が市政に反映されることが重要であることから、各審議会等における女性委員の参画割合の促進を一層図る。

平成29年度においてC評価となった3事業(農業委員への女性の参画・福島市防災会議への女性の参画・プライバシーに配慮した避難所備品の整備)については、改善に向けた取組みを図る。

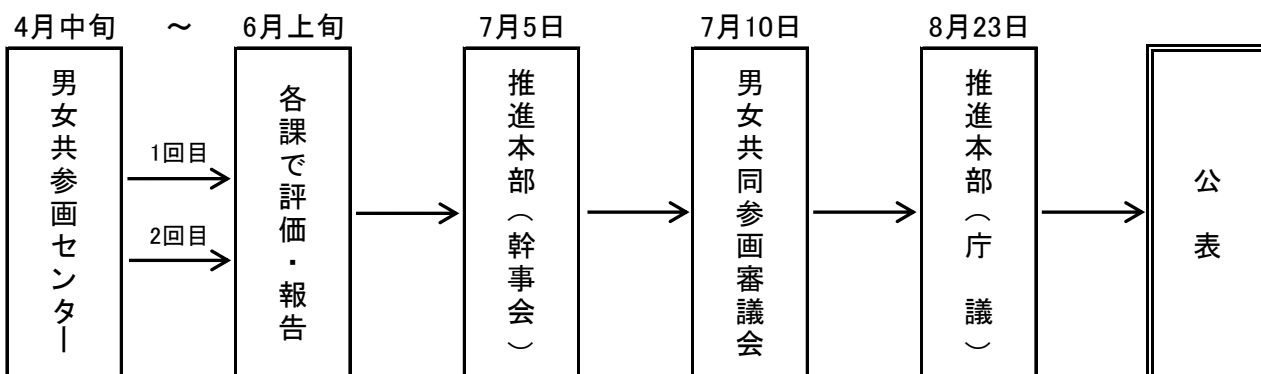
男女がともに参画できる環境整備を図るため、事業の立案、準備の段階で、男女共同参画の視点を取り入れることを進める。

(3)基本目標Ⅲ 男女の人権を尊重する社会づくり(26事業)

男女間のあらゆる暴力の根絶と男女の生涯にわたる健康支援を図るため、平成29年度は26事業を実施し、A評価率及びB評価率とも平成28年度と同数であった。

各種相談事業や支援体制の充実を図るとともに、DVやハラスメント、虐待の事前防止に向けた一層の広報・啓発等の取組みを行う。

6 公開までの流れ・スケジュール(予定)



7 参考

(1)平成28年度と比較し、評価が変わった事業【11事業】

ページ	担当課	事業名	評価(H28→H29)	事業内容 / 変更理由
P10上	男女共同参画センター	啓発事業 (福島市男女共生 セミナー2017)	— → A	平成28年度は会場の都合により開催を中止した。 平成29年度の開催にあたっては、申込者数は定員を超え、およそ8割の方から「満足」以上の回答を得られた。
P29下	男女共同参画センター	男女共同参画出前 講座の開催	A → B	平成28年度は企業の学習会への講師派遣を2回 実施したが、平成29年度においては、広報に努 め、問い合わせはあったものの、男性の地域生活 や家庭生活を支援する目的での派遣要請がな かった。
P31上	男女共同参画センター	男女共同参画出前 講座の開催	A → B	平成28年度は企業の学習会への講師派遣を2回 実施したが、平成29年度においては、広報に努 め、問い合わせはあったものの、企業の学習会へ の派遣要請がなかった。
P36下	商業労政課	創業応援利子補給 事業	B → A	平成28年度は、補助目標件数16件に対し12件 (75%)だったが、平成29年度は、補助目標件数16 件に対し14件(87.5%)だった。
P40下	こども政策課	ひとり親家庭援護 事業	A → B	平成28年度は母子生活支援施設への入所世帯数 は6世帯であり、平成29年度は0世帯であったもの の、心に傷を負った母や貧困の母子家庭において 入所相談を受ける中で、適切な相談窓口につなぐ ことができた。
P41上	生活福祉課	就労支援窓口を生 活福祉課に常設	C → A	児童扶養手当及び住居確保給付を受給している 方や生活に困窮させられている方などを対象に、平 成28年度は115人に支援し28人(24.3%)の方が就 労したが、平成29年度は、20人に支援し13人 (65%)が就労した。
P44上	男女共同参画センター	男女共同参画出前 講座の開催	B → A	地域等で開催する男女共同参画に関する学習会 への講師派遣を2回実施した。
P53上	人事課	福島市職員の子育 て支援プラン	C → B	男性職員の育児休業の取得について、平成28年 度は、取得可能者53人に対し1人(1.9%)が取得し たが、平成29年度は、取得可能者63人に対し4人 (6.3%)が取得した。
P66下	危機管理室	プライバシーに配 慮した避難所備蓄 品の整備	B → C	平成28年度は簡易型避難用テントの2人用ひなん ルームを202張、目隠しカバーを51枚購入したが、 平成29年度においては購入をしなかった。
P67上	危機管理室	防災士の養成	A → B	平成28年度は、女性6人が講座や研修に参加し たが、平成29年度は、女性2人が研修に参加した。
P67下	消防総務課	消防団への入団促 進	A → B	平成28年度は、女性消防団員が全国大会におい て発表者として参加することで、HP等での情報発 信に繋げることができたが、平成29年度は、一般 参加者としての参加であったため、情報発信に繋 げることができなかった。

(2)平成29年度のC評価の事業【3事業】

ページ	担当課	事業名	事業内容 / 理由
P65下	農業委員会	農業委員への女性 の参画	平成30年3月31日現在、女性委員数/総数が、4/60人(6.7%)であった ため。
P66上	危機管理室	福島市防災会議へ の女性の参画	平成30年3月31日現在、女性委員数/総数が、3/53人(5.7%)であった ため。
P66下	危機管理室	プライバシーに配 慮した避難所備蓄 品の整備	簡易型避難用テントの購入実績がなかったため。

(3)平成28年度で終了(廃止)した事業【1事業】

ページ	担当課	事業名	事業内容 / 理由
P56上	長寿福祉課	高齢者・障がい者 への住宅改修資金 補助	これまで補助金を活用し、高齢者等の安全・安心な暮らしのために、介護保険 制度の補助制度として可能な限り住宅改修の補助を行い成果を得た。補助終 了に伴い廃止。(ほか住宅改修事業は継続)